FUJIIRYōKI

AirStream
エアーストリーム
EX-60
取扱説明書

- このたびは当社のエアーストリームをお買い上げいただき誠にありがとうございました。
- ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。
- 保証書は必ずお受け取りください。

安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の２つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

表　示	表示の意味
⚠ 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容が記載されています。
⚠ 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容が記載されています。

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

絵表示の例

記　号	記号の意味と例
	△記号は、警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は指を挟まれないよう注意）が描かれています。
	○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

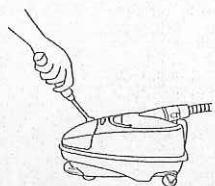
⚠警告

絶対に分解したり修理・改造は行わない。

発火したり、異常動作してケガをすることがあります。

分解禁止

お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから引き抜く。また、ぬれた手で抜き差ししない。

感電やケガをすることがあります。

プラグを抜く

灯油、ガソリン、タバコの吸い殻などを吸わせない。

火災の原因となります。

禁止

定格15A以上のコンセントを単独で使う。

他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

コンセント

定格15A以上の
コンセントを使いましょう

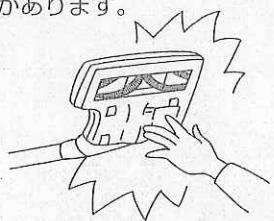
ターボブラシの回転部には触れない。

手などをケガすることがあります。

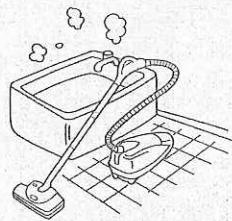
接触注意

水洗いや風呂場、屋外での使用は絶対にしない。また、水をかけない。

感電する場合があります。

使用禁止

ぬれた手でスイッチ部を触らない。

感電する場合があります。

禁止

安全上のご注意

⚠注意

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く。

感電やショートして発火することがあります。

プラグを持って抜く

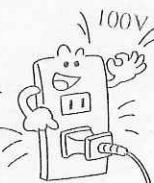
電源コードを傷つけたり破損したり、加工したり、無理に曲げたり引張ったり、ねじったり、束ねたりしない。また、重い物を載せたり挟み込んだりしない。

電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

禁止

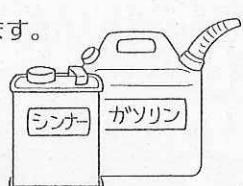
交流 100V 以外では使用しない。

火災や感電の原因となります。

必ず交流 100V をご使用ください。

禁止

引火性のもの（ガソリン、ベンジン、シンナー）の近くで使用しない。

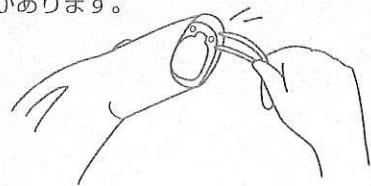
爆発や火災の原因となります。

禁止

電源コードや電源プラグ、ホース、延長管が傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。感電・ショート・発火の原因となります。

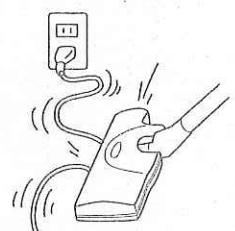
禁止

本体、ホース取手部や延長管の 100V 接点にピンを入れない。

感電することがあります。

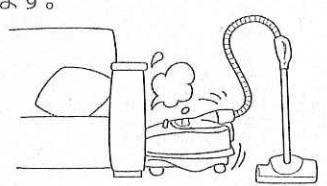
禁止

コードをターボブラシの回転部に巻き込まない。

コードの損傷により感電することがあります。

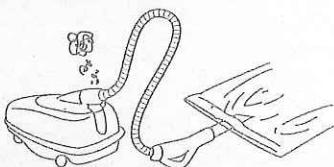
禁止

送風口は、ふさがない。

火災の原因となります。

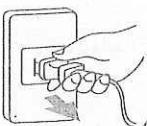
禁止

⚠注意

吸込口をふさいで長時間運転しない。

過熱による本体の変形・発火の原因となります。

禁止

使用時以外は、電源プラグをコンセントから引き抜く。

ケガややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因となります。

プラグを抜く

火気に近づけない。

本体の変形によるショート・発火の原因となります。

禁止

お子様の近くで使用する際は充分に注意する。また、お子様が玩具にしないように注意する。

ケガなどの原因となります。

子供に注意

ターボブラシの前進に注意する。

ブラシ回転中はブラシが前進しやすくなり、思わず手が引かれることがあります。

注意

（お願い）

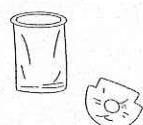
掃除目的以外には使用しないでください。

次のものは吸わせないでください。

- 水などの液体や湿ったゴミ。
- ガラス、ビン、刃物など鋭利なもの。
- 多量の砂、小石など目詰まりするもの。

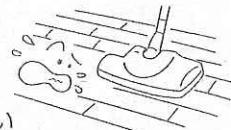
（故障の原因となります。）

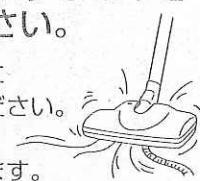
紙フィルター、送風口フィルター（ヘパフィルター）は必ず指定のものをお使いください。

- 指定以外のものを使用すると故障の原因となる場合があり、性能、品質を保証できませんので、ご留意ください。

ターボブラシ、畳・床用吸込口を床に強く押し付けないでください。

- 床をすべらすように動かしてください。
- 砂ゴミの上などで使うと床が傷ついたり、延長管やブラシに無理な力が加わり、故障の原因となります。

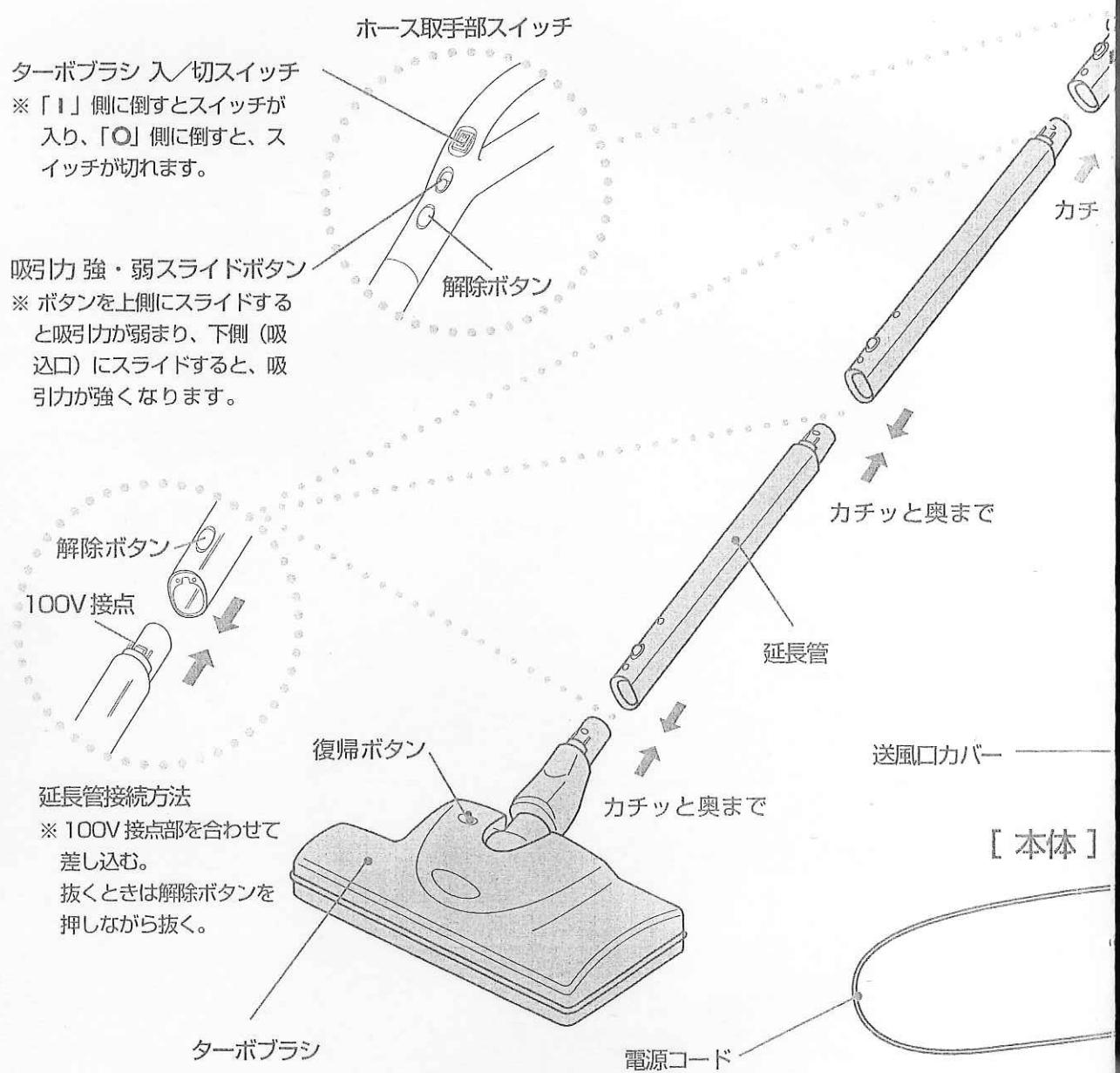
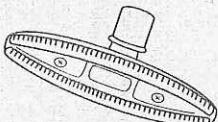
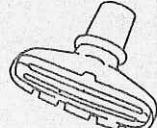
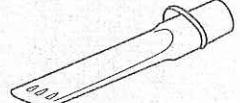
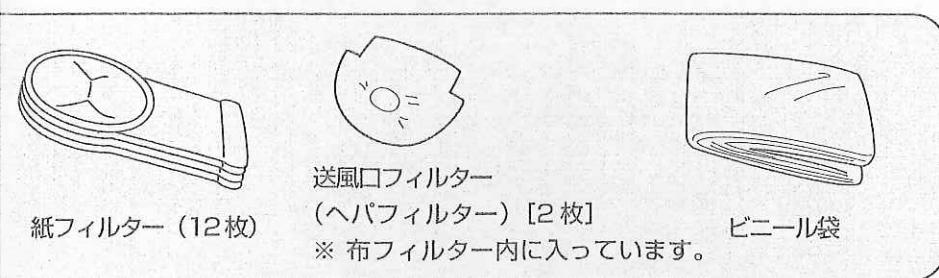
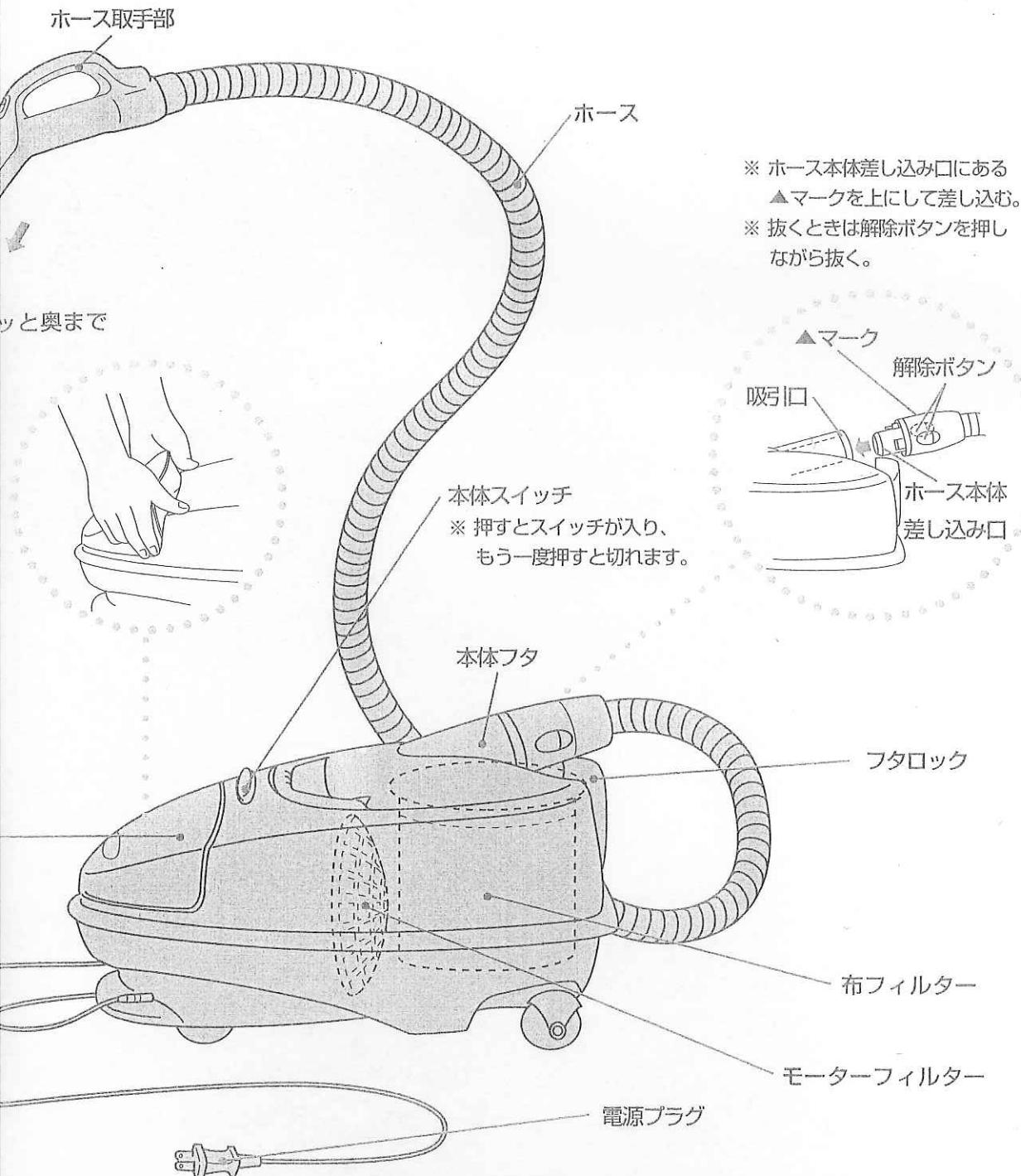
ターボブラシはフローリングなどの板の間には使用しないでください。

- 表面を傷めることがあります。
- 畳にご使用の場合、使い方によっては畳の表面を傷めることがありますので、ご注意ください。

ターボブラシの回転部にふとん・シーツ、毛布、電源コードまたはブラシがロックするようなものを巻き込まないでください。

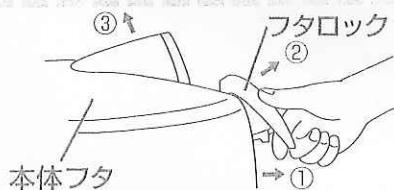
- 巻き込んだ場合は、すぐに本体スイッチを切ってください。
- ターボブラシが動かなくなることがあります。

各部の名称とはたらき

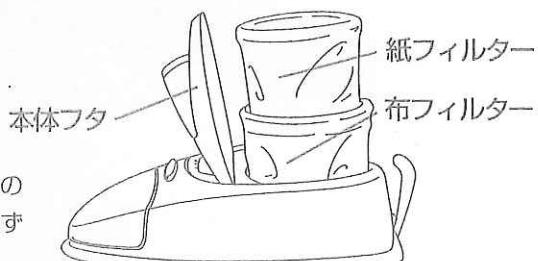
その他の付属品

畳・床用吸込口　布張家具用吸込口　たな用ブラシ吸込口　すき間用吸込口

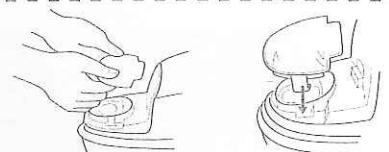
ホース取手部
ホース
※ ホース本体差し込み口にある
▲マークを上にして差し込む。
※ 抜くときは解除ボタンを押しながら抜く。
ッと奥まで
▲マーク
解除ボタン
吸引口
ホース本体
差し込み口
本体スイッチ
※ 押すとスイッチが入り、
もう一度押すと切れます。
本体フタ
フタロック
布フィルター
モーターフィルター
電源プラグ
紙フィルター（12枚）
送風口フィルター
（ヘパフィルター）［2 枚］
※ 布フィルター内に入っています。
ビニール袋

ご使用前の準備

布フィルターに紙フィルターをセットしてください。

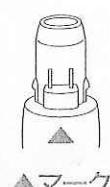
1 フタロックを ①・② の順に上げて、本体フタ ③ を開けてください。

2 布フィルターの縁に、紙フィルターの縁を重ねるようにセットし、本体フタを閉め、フタロックを下げてください。

お願い 紙フィルターを使用しないと布フィルターの目がつまり、傷みが早くなりますので、必ず紙フィルターを使用してください。

送風口フィルター（ヘパフィルター）をセットしてください。

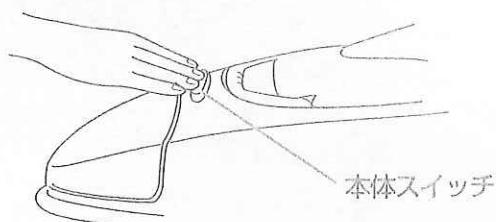
1 送風口カバー左右のすき間に指を差し込み、本体に親指をかけてから、本体と反対側に持ち上げます。

2 送風口フィルター（ヘパフィルター）の突起を送風口の溝にはめ込み、送風口カバーを閉めます。
※送風口フィルター（ヘパフィルター）のツメが「カチッ」と音がするまではめ込んでください。

ホース本体差し込み口を本体吸引口に差し込んでください。

1 ホース本体差し込み口の▲マークを上にして、吸引口に差し込んでください。

※「カチッ」と音がするまではめ込んでください。

ご使用方法

電源の入れかた 電源コードの電源プラグをコンセントに差し込みます。

本体スイッチを押してください。

各種吸込口の使用方法については9～12ページをご参照ください。

⚠警告

定格15A以上のコンセントを単独で使う。

他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

定格15A以上のコンセントを使いましょう

15A

ご使用後は

ご使用後は、本体スイッチを切り、電源コードの電源プラグをコンセントから引き抜いてください。

⚠警告

使用時以外は、電源プラグをコンセントから引き抜く。

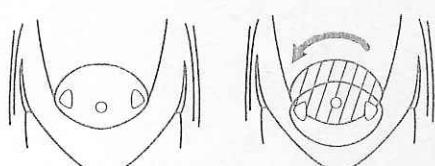
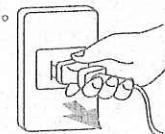
感電ややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因となります。

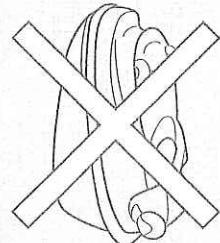
吸込口側を下にして本体を立て、①コードストッパーを下図のコード巻取位置まで回転させた後、電源コードを②矢印方向に巻きつけてください。

①コードストッパーの位置

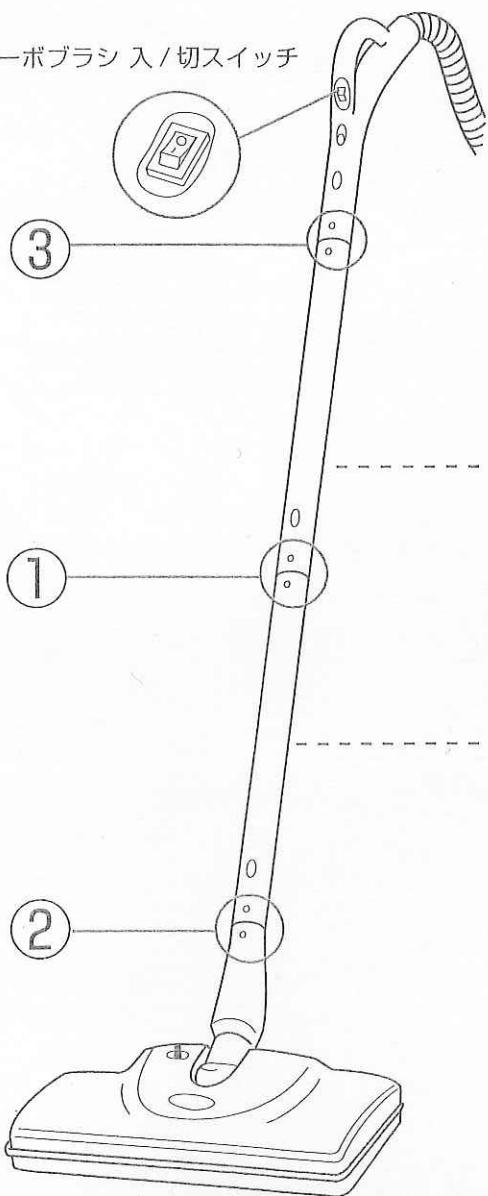
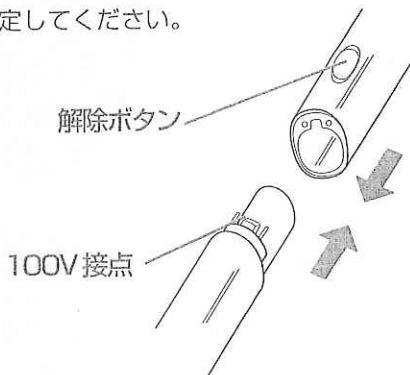
コード解放位置

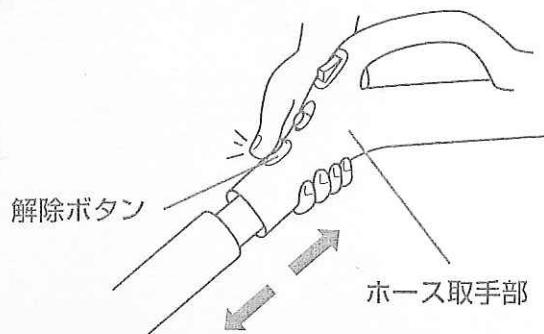
コード巻取位置

②コード巻取方向

※ 使用するときは、コードストッパーを逆向きに回転させると、コードが一気にはずれます。

注意

倒れると危険ですので本体を立てて置かないでください。また、延長管とホースを立てて収納する場合は倒れないように固定してください。

ご使用方法

ご使用される用途に合わせて吸込口をお選びください。

ターボブラシの接続方法

1 延長管どうし、延長管とターボブラシ、延長管とホース取手部を、「カチッ」と奥まで差し込んで固定してください。

2 差し込むときは「延長管どうし①」「延長管とターボブラシ②」「延長管とホース取手部③」の順に行ってください。

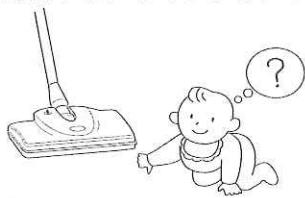
3 引き抜くときは、ホース取手部や延長管の解除ボタンを押しながら引き抜いてください。

ターボブラシを安全にお使いいただくための注意事項

1 掃除機をご使用の前には、必ずお部屋をかたづけてください。
室内に物が散乱していると、ターボブラシに巻き込むなど、故障の原因となります。また、ターボブラシに物が巻き込まれると、安全のため、ブラシの回転が停止するようになっています。

2 ターボブラシのスイッチを入れると、ブラシが前進しやすくなりますので、ご注意ください。

⚠警告
ターボブラシの回転部には触れない。
手などをケガすることがあります。

接触注意

3 ターボブラシをご使用のときは、お子様（特に乳幼児）をブラシ回転部に近づけないようにしてください。

4 お掃除を中断されるときは、必ず、ホース取手部のターボブラシ 入／切スイッチ、本体スイッチを切り、電源プラグをコンセントから引き抜いてください。
ターボブラシを回転したまま放置していますと、床面を傷めます。また、回転部に触れるとケガをします。特にお子様には充分注意してください。

⚠注意
ターボブラシ回転中は、ブラシが前進しやすくなり、思わず手が引かれることがありますので、ご注意ください。

⚠警告
お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから引き抜く。また、ぬれた手で抜き差ししない。感電やケガをすることがあります。

プラグを抜く

5 ターボブラシのお手入れの際は、必ずホース取手部のターボブラシ 入／切スイッチ、本体スイッチを切り、電源プラグをコンセントから引き抜いてください。電源プラグを差し込んだままでお手入れすると、万一、ターボブラシおよび本体スイッチが入ったときにブラシが回転して、ケガをします。

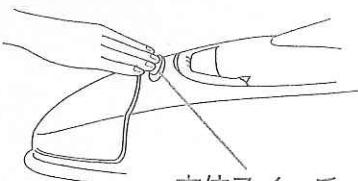
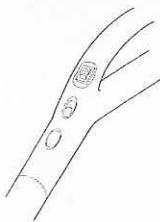
（ご使用方法）

ターボブラシの回転が停止したとき

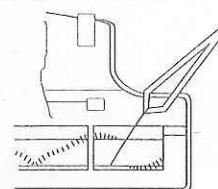
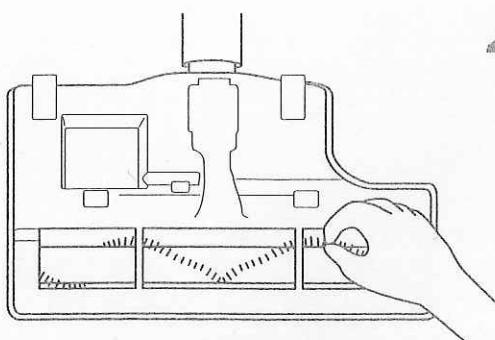
ターボブラシに物が巻き込まれると、安全のため、ブラシの回転が停止するようになっています。
その場合は、以下の手順で対処してください。※電源コードのプラグは必ず抜いてください。

⚠警告
お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから引き抜く。
また、ぬれた手で抜き差ししない。感電やケガをすることがあります。

1 <電源を切る>

ホース取手部のターボブラシのスイッチと本体スイッチを切り、電源プラグをコンセントから引き抜いてください。

2 <異物を取り除く>

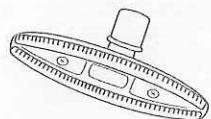
延長管からターボブラシを引き抜き、巻き込まれた物を取り除いてください。

※巻き込まれた物を取り除いた後、残ったカーペットの毛や髪の毛などは、ハサミやピンセットを使って取り除いてください。

3 <復帰ボタンを押す>

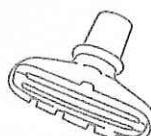
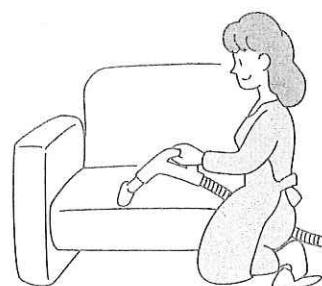
延長管をターボブラシに差し込んだ後、ターボブラシ上部の復帰ボタンを押してください。その後、電源プラグをコンセントに差し込み、本体スイッチを入れてからターボブラシのスイッチを入れてください。

畳・床用吸込口のご使用方法

延長管に「畳・床用吸込口」をセットし、畳や床を清掃してください。

畳・床用吸込口

布張家具用吸込口のご使用方法

ホース取手部または延長管に「布張家具用吸込口」をセットしてください。ソファー、カーテンなどの清掃に適しています。

※ご使用に際しては、吸引力 強・弱スライドボタンを弱の位置で使用されることをおすすめします。

布張家具用吸込口

たな用ブラシ吸込口のご使用方法

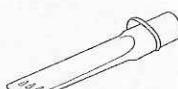
ホース取手部または延長管に「たな用ブラシ吸込口」をセットしてください。家具の表面や棚、障子のさんなどの清掃に最適です。

※ご使用に際しては、吸引力 強・弱スライドボタンを弱の位置で使用されることをおすすめします。

たな用ブラシ吸込口

すき間用吸込口のご使用方法

ホース取手部または延長管に「すき間用吸込口」をセットしてください。家具と家具とのすき間、狭いところのゴミを取り除くのに最適です。

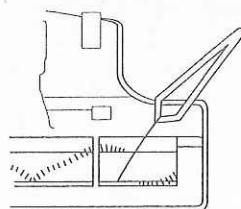
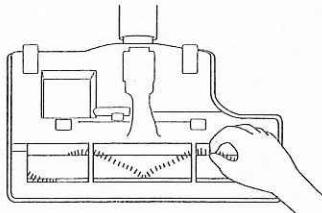
※ご使用に際しては、吸引力 強・弱スライドボタンを弱の位置で使用されることをおすすめします。

すき間用吸込口

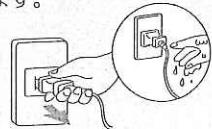
お手入れ方法

ターボブラシのお手入れ方法

本体スイッチを切り、電源プラグをコンセントから引き抜いてから行ってください。

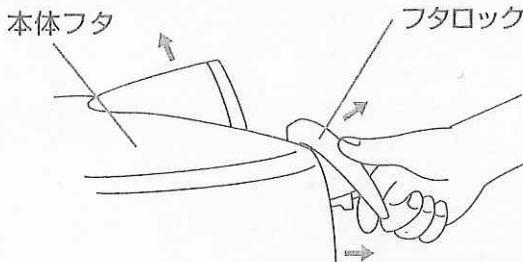
回転ブラシにピン、糸くずが絡みついている場合は、取り除いてください。カーペットの毛や髪の毛などは、ハサミやピンセットを使って取り除いてください。

⚠警告

お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから引き抜く。また、ぬれた手で抜き差ししない。

感電やケガをすることがあります。

プラグを抜く

ゴミの捨て方

ゴミはなるべく早目に捨ててください。捨てる場合は、必ず紙フィルターごと捨ててください。

本体のフタロックをはずし、本体フタを開け、紙フィルターを取り出してください。

保護装置について

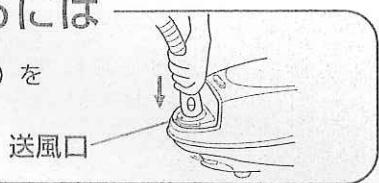
ゴミが多くたまったまま使用すると、保護装置により運転が停止することがあります。電源プラグをコンセントから引き抜いて紙フィルターを交換し、すずしい場所に置いてください。約1時間後に使用できます。

※ ゴミを６回捨てるごとに、送風口フィルター（ヘパフィルター）も交換してください。

※ 交換の方法は７ページをご覧ください。

フィルター類、各吸込口のゴミ・ホコリなどは、ジェット噴射で取り除くことができます。

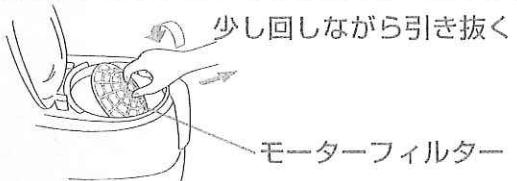
準備　ホースよりジェット噴射するには

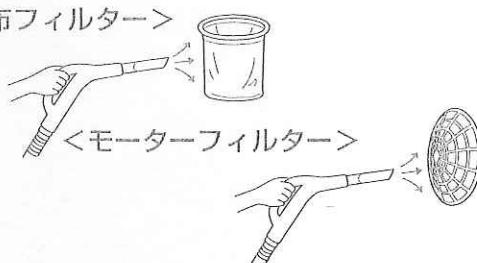
本体の送風口カバーをはずし、送風口フィルター（ヘパフィルター）を
取りはずして送風口にホース本体差し込み口を差し込み、
本体スイッチを押すと、ホースからエアーが噴射されます。

布フィルター・モーターフィルターのお手入れ方法

1 フタロックをはずし、本体フタを開け、紙フィルター、布フィルターを取り出してください。

紙フィルター
布フィルター

お願い　本体フタを開ける場合には本体スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから引き抜いてください。

2 本体よりモーターフィルターを取り出してください。

3 ホース取手部にすき間用吸込口をセットして、モーターフィルター、布フィルターの表面のホコリを吹き飛ばすことができます。

お願い　ホコリが散りますので、お手入れは室外でしてください。布フィルターは洗わないでください。

畳・床用吸込口、たな用ブラシ吸込口のお手入れ方法

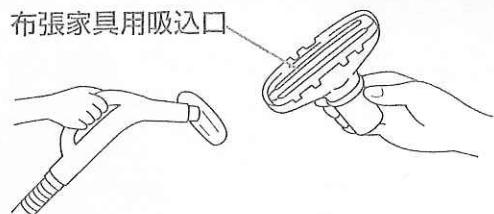
ジェット噴射を吹きつけてください。
畳・床用吸込口、たな用ブラシ吸込口のゴミや糸くずを吹き飛ばすことができます。

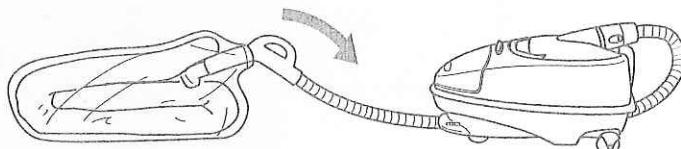
お願い　汚れがひどい場合は、ぬるま湯に溶かした中性洗剤で洗い、陰干ししてください。

注意　ターボブラシは洗えません。
感電や故障の原因となります。

（上手なご使用方法）

ふとん内部をクリーンアップする場合

1 本体の吸引口にホース本体差し込み口を取りつけてください。ホース取手部の先には布張家具用吸込口をセットしてください。

2 ふとんを付属のビニール袋に入れ、口を閉めたままでスイッチを入れて吸い続け、真空パックのような状態にします。
※ 長時間の使用はせず、短時間で終了してください。過熱の原因となります。

真空パックの状態まで吸引した後、すぐに本体スイッチを切ってください。

3 陽のあたる縁側やストーブの近くなど、あたたかい場所で開封してください。
２～３回繰り返しますと、ふとんの内部がリフレッシュされます。

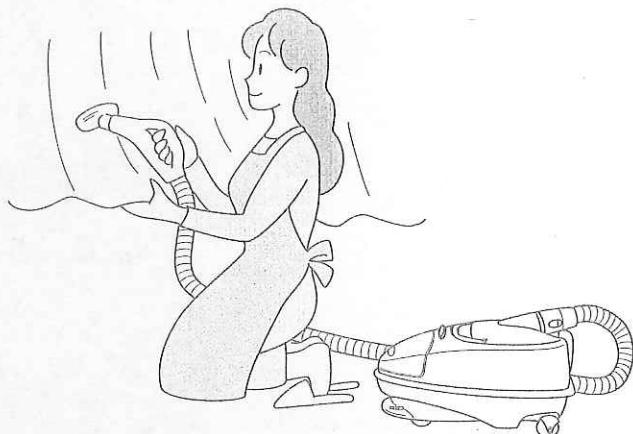
敷ふとんを掃除する場合

ターボブラシの裏面をきれいに拭き、延長管を差し込んで、ふとんの「表・うら」を、掃除してください。

お願い ふとんやシーツがたるんでいて、ターボブラシに巻き込まれないよう注意してください。

お願い 掛けふとんを掃除する場合は、ターボブラシを使用せず、「布張家具用吸込口」をご使用ください。

カーテンを掃除する場合

「布張家具用吸込口」を直接ホース取手部に差し込んでお使いください。
(高い場所は延長管をお使いください。)
※ 吸引力 強・弱スライドボタンは弱の位置で使用されることをおすすめします。

故障かなと思ったら

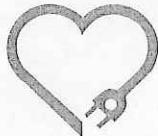
■ 次のような場合は、故障でない場合がありますので、サービスをご依頼される前に、次の点検を行ってください。

本体トラブル	考えられる原因	処置方法について	ページ
本体スイッチを押してもモーターが回転しない。	電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。	電源プラグをコンセントに差し込み直してください。	8
ターボブラシ入／切スイッチを押してもターボブラシが回転しない。	本体スイッチは押されていますか。	本体スイッチを押し、本体モーターが回転した後、ターボブラシの入／切スイッチを「Ⅰ」の位置に倒してください。	8
	ホースおよび延長管はきちんと接続されていますか。	ホースおよび延長管はひっぱっても抜けないよう、しっかり差し込んでください。	9
	ホース取手部のターボブラシ入／切スイッチは「Ⅰ」の位置に倒されていますか。	ターボブラシの入／切スイッチを「Ⅰ」の位置にしてください。「〇」の位置で切れます。	9
	ターボブラシがロック（停止）状態になっていませんか。	ターボブラシのロック（停止）を解除したうえで復帰ボタンを押してください。このとき、電源プラグは必ずコンセントから抜いた状態で行ってください。	11
吸引力が弱い。	ホース、吸込口、延長管などにゴミがつまっていませんか。	各部品を取り外して、つまっているゴミを取り除いてください。	9
	紙フィルターにゴミがいっぱいたまっていませんか。	たまったゴミを捨て、新しい紙フィルターを付けてください。	13・14
	布フィルターに微細なホコリが付着していませんか。	布フィルターを清掃してください。	14
	モーターフィルターがひどく汚れていませんか。	モーターフィルターを清掃してください。	14
	送風口フィルター（ヘパフィルター）に微細なホコリが付着していませんか。	送風口フィルター（ヘパフィルター）を交換してください。 ※通常はゴミ（紙フィルター）を6回捨てるごとに交換します。	7 13
	吸引力 強・弱スライドボタンは正しく使われていますか。	用途に合わせてスライドボタンを使い分けてください。 ※弱側は吸引力が弱くなります。	5 12

※上記以外の場合、ただちに使用をやめて、電源プラグをコンセントから引き抜き、ご購入先またはフジ医療器にご相談ください。

⚠警告 **絶対に分解したり修理・改造は行わない。**
発火したり、異常動作してケガをすることがあります。

分解禁止

愛情点検

愛情点検
長年ご使用の場合は
点検をぜひ！

このような症状はありませんか。

- こげくさい臭いがする。
- 電源コード、電源プラグが異常に熱い。
- コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
- その他の異常がある。

ご使用中止 ⇒ 故障や事故防止のため本体スイッチを切り、コンセントから電源プラグを引き抜いて、必ずご購入先、またはフジ医療器に点検・修理をご相談ください。

お願い しばらく使用しなかった機器を使用するときは、使用前に機器が正常に作動することを確認してください。

仕様

商品名	エアーストリーム
製造元	Interstate Engineering CO., LTD.U.S.A
形式	EX-60
電源	AC100V 50／60Hz
消費電力	920W（ターボブラシ停止時840W）

吸込仕事率	165W
回転数	約20,000rpm（毎分）
収じん容積	3.4ℓ
本体寸法(約)	高さ280mm×長さ485mm×幅255mm
本体質量	約6.8 kg（本体のみ）
標準質量	約8.6 kg（本体、ホース、延長管、畳・床用吸込口）

アフターサービスについて

17ページに従って調べていただき、なお異常があるときは、使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いてから、ご購入先にご連絡ください。

① 保証書（別に添付してあります）
お買い上げの際に保証書をご購入先からお受け取りになり「お買い上げ日」「ご購入先」欄の記入をご確認のうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

② 保証期間中に修理を依頼される場合
この商品の保証期間は、お買い上げから1年間です。ご購入先にご相談ください。保証書の記載内容に従って修理いたします。
（なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。）

③ 保証期間を過ぎて修理を依頼される場合
まずご購入先にご相談ください。修理により、製品機能が維持できる場合には、ご要望に従い有料にて修理いたします。

④ その他ご不明な場合
保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明な点は、ご購入先、またはフジ医療器サービス網までお問い合わせください。

● 補修用性能部品の保存期間
当社はこの商品の補修用性能部品を、製造打ち切り後、最低6年保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。